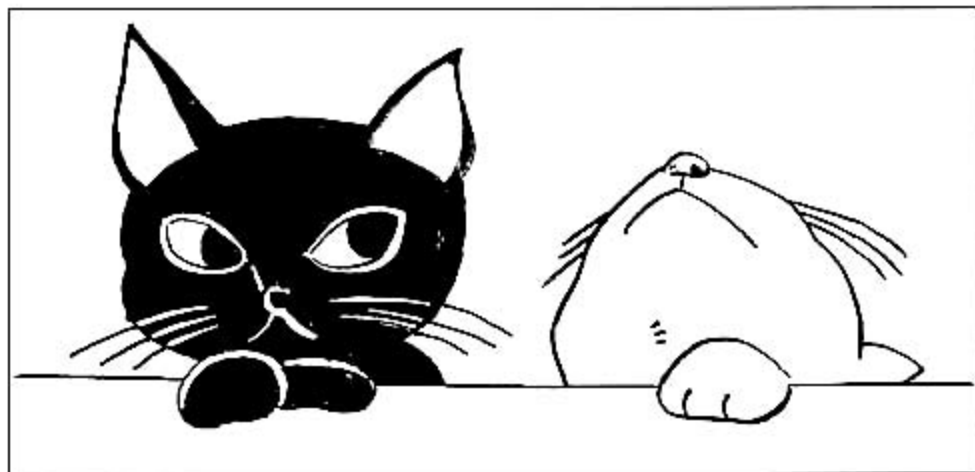
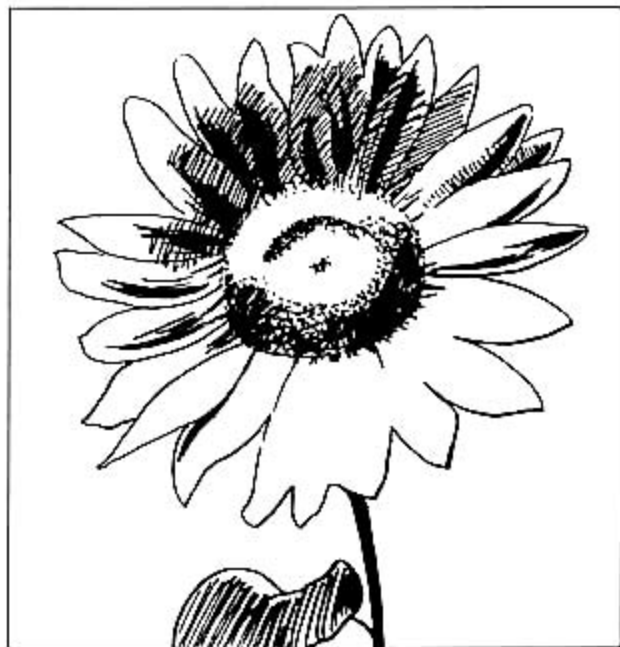


‘キャッチ’
CATCH

VOL.93

2020.7



西東京市図書館

今、ここにある本

コロナで外出できなくても、
友達に会えなくても…本があった！



『スマートアイランド』

竹内奏歩 著 幻冬舎

外出の自粛をする中で、多くの人がオンライン会議や遠隔授業などの「IT技術」の恩恵を受けたのではないのでしょうか？この本はそんなITをテーマにしたアドベンチャー小説です。

技術が発達した近未来の世界。物語の舞台となるのは、高度にIT化されたスマートアイランドである望空島です。主人公の一樹はそこで行われるイベント「ノア グランゼコール」に参加することになります。一樹は、大人びたどこか不思議な雰囲気を持つ少女・沙也加とペアを組み、知識や発想力を試す様々なゲームに挑んでいきます。

最先端の技術が使用されている望空島では、こんなものがあつたらいいと思うような魅力的な近未来のものがたくさん出てきます。薄く折りたためるスマホの「オリガミスマホ」、無人コンビニや自動運転車に、人間とコミュニケーションをとれるロボットなど。実現したら生活がどんなふうになるかと想像すると、ワクワクしてきませんか？

そんな島の中で個性豊かな参加者の中学生たちは、優勝賞品をかけてゲームで競い合います。ゲームの内容も最先端の技術に関する変わったものです。一つ例を挙げると、水中ドローンで魚の水揚げの数を競うミッションがあります。一樹たちは体力が必要だったり、発想力がカギとなったりするような様々なミッションをそれぞれの才能を発揮してクリアしていきます。

はたして、優勝賞品「宇宙旅行」を手にするのは誰なのか、そしてイベントの裏で動く“国家の重要機密”を巡る駆け引きとは？

最後まで目が離せない作品です！近未来のITアドベンチャー小説、ぜひ読んでみてください。

『はたらく地雷探知犬』

大塚敦子 文・写真 講談社

「地雷探知犬」を知っていますか？「盲導犬」や「警察犬」を知っている人も、「地雷探知犬」はよく知らないかもしれません。

そもそも地雷とは、戦争で使われた人を傷つけ戦えなくするための兵器。戦争が終わったところでも、多くの地雷が、今もなお人々を傷つけているのです。

地雷探知犬は地雷を見つけ、現地の人々の生活を守っているのです。

作者の大塚さんは犬と地雷の取材のため、ボスニア・ヘルツェゴビナへ旅立ちました。まず向かったのは犬達の訓練センター。子犬の頃から人間に親しみ、地雷探知犬になるために訓練をするところです。

犬の写真とともに文章を読むと、ほっこりとした感じになりますが、作者は、地雷原を取材し、戦争を体験した人や、地雷の被害にあった人のことも取り上げています。

面白いだけでなく、戦争や平和について考えさせられる一冊です。

『犬と私の10の約束』

サイトウアカリ 作 霜田あゆ美 絵 KADOKAWA

この本は、病気で母を亡くした少女あかりと、突然あかりの家に上がり込んできたゴールデンレトリバーのソックスとの10年間を描いた物語です。

あかりの父は犬嫌い。しかし、ソックスはあかりのことが大好き。母を亡くして、父と二人の生活になったある日のことです。ソックスがあかりの家に上がり込んできた時、あかりは父にソックスが見つからないように押し入れにソックスをかくしました。すると、ショートケーキとチーズケーキを持った父が帰ってきます。ケーキの甘い匂いにつられてソックスがくんくんとにおいをかぎます。あかりはソックスが押し入れにいることがばれないようにごまかし続けますが父にばれてしまいます。押し入れから飛び出したソックスは、父に飛びついた後ケーキにむかって一目散に行ってしまいます。しまいには父のチーズケーキを食べて、「失礼なやつだな」と言われてしまいます。しかし、父はあかりにソックスを飼うことを許します。一体なぜでしょうか。

また、あかりとソックスには生前の母に言われた、犬を飼うときにしなければいけない約束があります。それは、ちゃんと守れるのでしょうか。約束は10個。母に言われたのは9個まで。さて、10個目の約束とは何でしょうか。面白くて、読みやすいのでぜひ読んでみて下さい。

『それでも人のつもりかな』

有島希音 著 流亜 絵 岩崎書店

みなさんは何か人やもの、出来事などに自分を変えられた経験はありますか。苦手だった人を好きになったり、心と隣いた曲で人に優しくできるようになったり。この本では、全てが嫌いだった主人公が一人の先生と一人のクラスメイト、一つの花をきっかけに、変化を遂げる物語です。

主人公である亜梨沙は小学校の頃、^{つづ}壯絶ないじめを受けていました。ある事件をきっかけに学校へは行かなくなりますが、卒業式の日手続きに学校へ向かいます。そこで見た「ハンノキ」の花がなぜか亜梨沙の心に残りました。

中学校に入っても友達は一人もできず、授業も寝て過ごしていました。ほとんどの先生が亜梨沙に授業を受けさせるのを諦める中、国語の上村先生だけはしつこく参加させようとしていました。

そんなある日、国語の授業で「ハンノキのそれでも花のつもりかな」という小林^{いづみ}一茶の句が出てきます。「ハンノキ」という単語に思わず亜梨沙は顔をあげます。上村先生はクラスにその句の^{かいぎ}解釈を求めました。多くの人が、「花には見えないのに、花のつもりでいるハンノキがおかしかった」という解釈をする中、大友^{おおとも}実有は「どう見ても花には見えないのにそれでもけんめいに咲いているハンノキがかわいかった」という解釈をしました。上村先生は二つの意見のどちらだと思うか亜梨沙にしつこく意見を求めます。それに対して亜梨沙は怒り、教室を飛び出してしまいます。

全体的に暗い雰囲気だと思う方もいるかもしれませんが。でも、亜梨沙が変わっていくにつれ、なんとなく明るくなって、なんとなく元気になれる気がします。ぜひ、みなさんも最後まで読んで勇気をもらってみては？

『君の臍臓はいいぞうをたべたい』

住野よる 著 双葉社

この小説は映画化されているので、聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか？私はこの小説が大好きで映画を見に行った記憶があります。小説とは少し違っていて驚きましたが、個人的に小説のほうが好みでした（小説はとても読み込んでいたのでその影響もあると思いますが）。「映画しか知らない！」という方、ぜひ読んでみてください。少し違いますが物語の内容を大体把握している状態で読むのも楽しいです。「そんなんはじめて聞いたわ！」という方はぜひ小説からこの作品にふれることをオススメします。

この小説には主に2人登場します。臍臓の病気になるってしまった女子高校生の山内桜良やまうち さくらら、そして男子高校生です。男子高校生の名前は実際に小説を読んだほうが良いと思うので言わないでおきます。なぜなら桜良は男子高校生のことを【仲良し】くん、【秘密を知っているクラスメイト】くんなどいろいろな呼び方をするのでワクワクしながら読むことができるからです。これがこの本を読んでいてとても面白いなと思ったポイントです。

そして、私がこの小説を読んで注目したことは男子高校生の心情の変化です。最初はクラスメイトとの接触を避け、全く人と関わらないような人だったのですが、桜良と出会い少しずつ変わっていきます。もちろん最初は桜良と関わるのも渋々承諾しているような感じでした。けれど最後の方になると桜良に「まだ、死なない、よね？」と聞き、さらには「何か隠してるんでしょ。」と彼女に踏み入ろうとしたのです。私はとても驚きました。いつも少し桜良と線を引いているように私は思っていたので、少しフリーズした記憶があります（今でもフリーズするときがあります）。最後の方になっていくと「僕の心は、彼女で埋め尽くされた。」と男子高校生は言っています。その感情が出てくるようになったことは彼女に出会えたからなのかなと思い、私はこの小説を何回読んでも必ずこのシーンで泣いてしまいます。そしてその後を読み続けると男子高校生は昔感情が豊かだったのではないかと考えられると私は思います。

私は男子高校生の心情の変化に注目しました。桜良の心情の変化を読み取ってみるのも面白いと思います。小説で泣いたことないという方いらっしやると思い

ます。この小説は私が涙もろいというのものもあるかもしれませんが、今まで読んだ小説の中で1番泣きました。ぜひこの『君の臓腑をたべたい』を読んでみてください。

『ジーキル^{はくし}博士とハイド氏』

スティーヴンソン 著 田中西二郎 訳 新潮社

今回紹介する作品は「ジーキル博士とハイド氏」です。「ジキルとハイド」と言えば二重人格の代名詞とも言えるほど有名ですが、元となった作品を読んだことがある方は少ないのではないのでしょうか。

この作品は二部構成になっており、前半では弁護士のアタスン氏が友人のジーキルと醜^{しづこ}悪な怪人物 ハイド氏との関係性に迫る様子が、後半では陳述書^{なんじよつしよ}という形でジーキル本人が自らの身に何が起きたのかを語る様子が書かれています。そのため、前後半で違った魅力があります。

前半部の魅力は散りばめられた「ジーキル^{ベコル}ハイド」という事実につながる伏線です。この伏線は、ジーキルやハイドの言動・行動にあからさまなものから微かなものまで色々と仕込まれているので、それを把握することで、この作品をより楽しめると思います。そして、後半部の魅力は、ジーキルの心情の変化です。ハイドというもうひとりの自分を手に入れた彼は、最初こそ自分の欲望を解放する自由を謳歌^{うたが}しますが、ハイドの人格は徐々にジーキルの手の内から離れ、ジーキルを侵食し始めます。ジーキルの心情が享^{きやう}楽から焦^{きよう}りや恐怖へと変化していく様は、この作品の後半部の一番の魅力と言えるでしょう。

この作品は、新潮文庫や青い鳥文庫など、様々な出版社から出版されている上、スマホなどで読める青空文庫でも公開されているので、自分にあった形で、ぜひ触れてみてください。

『青空文庫』<https://www.aozora.gr.jp/>
オンラインで、著作権の消滅した作品と「自由に読んでもらってかまわない」とされた作品を読むことができます。



『鉄のしづきがはねる』

まはら三桃 著 講談社

三郷心^{みぎょうしん}は、工業高校の電子機械科唯一の女子だ。背が167センチの心は多くの男子の中にいても違和感はなく、特別女子扱いされるわけでもなかった。コンピューター研究部に所属している心は放課後に接点が少ない中原先生に呼び出される。なぜかと疑問に思いながら向かうと先生にものづくり研究部、略してくもの研>に誘われる。きっぱりと断った心だったが、先生はなかなか諦めない。先生がこんなに粘る理由は、前にあった切削^{きりぎり}実習で心の手さばきを見て、四年前くものづくりコンテスト>で全国三位になった卒業生の崎原由希子を思い浮かべたからだ。しかし心は結局断り、自分の部活へ急いだ。心は幼い頃よく祖父の工場へ遊びに行っていた。きっと手際がいいと褒められたのは作業の手順を頭のどこかで覚えていたのだろうか。ある日駐輪場で見知らぬおじさんに話しかけられ、由希子と勘違いされながら実習工場に案内した。そこには中原先生がいて作業していた。先生の誘いを断り工場を出ようとした時、キュルルーンと澄み切った金属の切削音が聞こえた。音の正体はさっきのおじさんだった。そしていつの間にか心は文化祭までくもの研>を手伝うことになった。

この本は私が中学二年生の時に読んだ本です。当時は工業高校大変そうだなあとは思っていなかったのですが、最近私はものづくりに少し興味があるので読み直してみると工業高校に通ってみたいなあと思いました。コンピューターで細かい作業をしたり、金属の切削作業をしたりするのは工業高校に行ったりしないとなかなか出来ないので、一年だけでも通ってみたいなあと思いました。このコロナウイルスの流行でなかなか普段通りの学校生活が送れない今だからこそ、一人の青春を謳歌^{うたが}している様子を見ることで少しでも皆さんの気持ちを明るく出来たらいいなと思いこの本を紹介しました。読んでみて、自分のやりたい道を考え直してみてもいいかもしれません。また私が中学三年生の時にどこかの過去問でこのお話が出てきて驚いた経験があります。受験生は忙しくてなかなか読書をする時間が取れないかもしれませんが、ぜひぜひ入試問題の練習もかねて読んでみてはいかがでしょうか？

私たちが、CATCHをつくってます！

～編集後記に代えて～

リモート編集でお送りした今回のCATCH。最後に、今年度の共同編集メンバーを紹介します☆

- ①ペンネーム
- ②自分を3つのキーワードで表すと？
- ③今、してること！
- ④今、したいこと！

- ①りほ
- ②読書・絵・パンダ
- ③絵を描く、読書
- ④新しい本、マンガを読みたい。

- ①しほ
- ②絵、マンガ、パンダ
- ③マンガ作り
- ④学校で普通に友達と遊ぶこと。

- ①アオイ
- ②歴史・神話好き、深夜ラジオ好き、漫画収集家
- ③勉強、読書、ゲーム
- ④積んでいる本を読みきる

- ①はなちゃん
- ②食・遊・案
- ③最近はコロナ期間で弱だったので**学校の課題**を終わらせたり、**手芸**などもやり始めました！！
- ④**色んな友達と遊びに行きたいです！！**

- ①あさぎ
- ②『本、インドア、料理』
外出自粛でよかったことは、料理が少しできる
ようになったことです。
- ③**学校の課題**に追われています…。他には、**無料公開されている小説や漫画**を探して
読んだりしています。
- ④進学した**学校**にほぼ行けていないので**行
きたいです**。

- ①しい
- ②器械体操・ジャンプ・出不精
- ③筋トレ、縄とび、数独など
- ④**友達とカラオケに行く！**

- ①yuuna
- ②**クイズ**が大好きです。自分で解くのも好きで
すが人が解いているところをみるほうが好き
です。
野球観戦が大好きです。埼玉西武ライオンズフ
ァンで球場に行っている日は大体外野で応援
しています。
泣き虫です。小さなことでも泣いてしまうこ
とが多いです。いつか克服したいと思っていま
す（今年中には克服したい……）。
- ③**漢字の勉強**をしています。私が憧れてい
るクイズプレイヤーの方が漢字についての知
識が豊富でかっこいいと思い、今勉強中です。
- ④**すぐ行動にうつせるようにしたいです**。
目標があってもなかなか動けず、計画的に物事
をすることが苦手な方なので自分にうんざり
しているので直したいですね。

- ①皆さんこんにちは！共同編集者の**すすず**
です。私は中学生の時に図書室の司書さんに勧め
られて編集者になりました。
- ②『**メガネ**』『**香氣**』『**アニメ**』
メガネは長年かけているのと、香氣はいつも
んびりしているのと、アニメは音からずっと好
きだからです。
- ③受験生なので**ずっと勉強**です。大変です
が、**日本史**を勉強していくと奥深くて覚える
のは難しいですが楽しいです。あと英語のリス
ニングが苦手なので普段あまり読めない**洋楽**
を聴いています。休憩時間にはよく**お笑い**を
見ています。おすすめの奈人さんはハナコさん
とロバートさんです。どちらも凄く面白いので
ぜひ見て下さい。
- ④今というかやるなら来年になってしまうの
ですが**水彩画**をやってみたいと思っていま
す。あと、いつになるかわかりませんが、**ライ
ブ**に**沢山**行きたいですね。今まで年に数回
行く程度でしたが、今度は色んなアーティスト
のライブや地方のライブに行ってみたいです。